

博士後期課程経済学専攻の教育目標と授業科目の関係

博士後期課程経済学専攻の教育目標

- 1) 分析力  
博士前期課程などで得られた成果を基に、各分野における最先端の高度かつ独創的な研究に必要な分析力を養うとともに、その研究課題や解決方法をより高度に習得する。
- 2) 最先端知識  
博士前期課程などで得られた成果を基に、各分野における最先端の研究についての知識をさらに深める。
- 3) 英語  
博士前期課程などで得られた成果を基に、各分野における英文テキストや最新の英語論文を読む能力、研究成果を英語により高度に発信できる能力を養う。
- 4) コミュニケーション  
博士前期課程などで得られた成果を基に、各分野における最先端の研究に携わり、未解決な問題を明確にしつつ自分の研究課題に取り組むことにより、学術論文等の研究成果を外部に公表し、学会・会議等において発表・研究討論できる能力を養う。
- 5) 指導力  
学部および博士前期課程の学生に対する教育・研究指導力を養う。

教育目標と授業科目の対応表

表中の「教育目標」の数字は、上記[2]. 1)分析力～5)指導力の教育目標に対応し、○印がついている番号がその授業科目の目標であることを示している。

博士後期課程 経済学専攻

カリキュラム		教育目標					配当年次
授業科目	単位数	1	2	3	4	5	
特別演習 I A	2	○	○	○	○	○	1
特別演習 I B	2	○	○	○	○	○	1
特別演習 II A	2	○	○	○	○	○	2
特別演習 II B	2	○	○	○	○	○	2
特別演習 III A	2	○	○	○	○	○	3
特別演習 III B	2	○	○	○	○	○	3
論文演習 D I	2	○	○	○	○	○	1
論文演習 D II	2	○	○	○	○	○	2
論文演習 D III	2	○	○	○	○	○	3
修了に要する全単位数 (合計)	18						